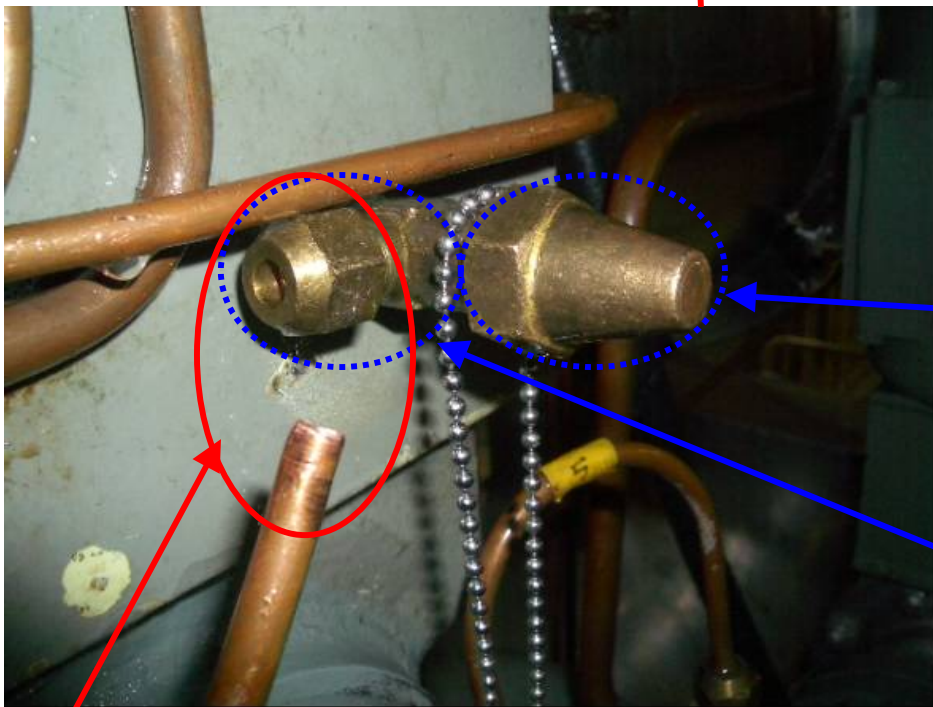


区分：Ⅲ

場所	5号機	
件名	原子炉付属建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況)</p> <p>当所5号機は定期検査中ですが、平成21年5月28日午前6時50分頃、原子炉付属建屋2階の冷凍機室(非管理区域)において、当直員が、機器冷却用冷凍機の油圧検出配管元弁付近から潤滑油が漏れている(配管につたう程度)ことを確認しました。このため、当直員は、潤滑油の漏れを止めるために当該元弁のキャップを取り外そうとしたところ、元弁とキャップが一緒に回ってしまい、元弁と配管の接合部(直径約1cm)が折損し、潤滑油が床面に漏れました。その後、直ちに当該元弁を閉めたことにより、潤滑油の漏れは停止しました。</p> <p>床面に漏れた潤滑油の量は約18リットルでした。</p> <p>(安全性、外部への影響)</p> <p>漏れた潤滑油は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p>	
安全上の重要度/損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>床面に漏れた潤滑油は拭き取りによる清掃を実施しました。</p> <p>今後、潤滑油が漏れていた原因を調査するとともに、折損した配管接合部の復旧を行います。</p>	



接合部より油漏えい

(漏えいを止めるため元弁のキャップを外す際、元弁とキャップが一緒に回り配管が折損した状態)

油圧検出配管元弁接合部